



誠愛薬局DIニュース 3月号



当院採用の湿布薬には、

冷感タイプ : セルタッチパップ(無臭性・1日2回貼付)

モーラステープL(大判タイプ・必要な大きさに切って使用できます・1日1回貼付)

温感タイプ : フェルナピオンパップ(1日2回貼付) があります。

【 ワンポイントアドバイス 】

冷感タイプの湿布薬と温感タイプの湿布薬の使い分け

急性期の症状(うちみ・捻挫など)の場合 : 冷感タイプ

慢性的な症状(腰痛・肩こりなど)の場合 : 温感タイプ の使用をおすすめします。

急性期の症状か慢性的な症状のどちらともいえない症状の場合

「冷やすと気持ちが良い方」 : 冷感タイプ

「お風呂に入ると気持ちが良い方」 : 温感タイプ が効果的でしょう。

【 湿布の貼り方 首・肩 編 】

「ひと工夫」で、
より剥がれにくくなります。

関節などの動く部位には、パップ剤に切れ目を入れるなどひと工夫をすると、よりぴったりと貼れ、剥がれにくくなります。

肩



1. パップ剤をずらして2つに折り、中央に2~3cmの切れ目を入れます。
2. フィルムをはがし、切れ目を中心に短い方を下にして肩峰を穴から出し、左右に少し伸ばします。
3. 次に、短い方を押さえて首の方に十分に伸ばしながら、肩の全面に貼ります。



首・肩



1. パップ剤を2つに折り、中央からずらして約3cmの切れ目を入れます。
2. フィルムをはがし、まず幅の広い方を十分に伸ばしながら首すじにそって貼ります。
3. 次に、幅の狭い方を左右に十分に伸ばしながら貼ります。

